

薬物動態制御学における教育効果の検証に関する研究のお知らせ

帝京大学 薬学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年4月17日～2030年3月31日

〔研究課題〕

薬剤学と臨床現場の協同アクティブラーニング演習における教育効果の後ろ向き観察研究

〔研究目的〕

2023～2025年度「薬物動態制御学 講義後アンケート」結果を用いて、薬学生の皆さんの満足度、学修項目を解析し、講義における教育効果の評価及び改善点の抽出を行います。

〔研究意義〕

解析結果から、薬学部講義(薬物動態制御学)において導入すべき事項や改善すべき内容が明らかになり、帝京大学の薬学部における教育内容をより良いものにすることができます。

〔対象・研究方法〕

対象：2023～2025年度「薬物動態制御学 第11回」に参加し、LMSによる講義後アンケートに回答した薬学部4年生

研究方法：LMSで実施した「講義後アンケート」調査で得られた回答について、満足度、自由記述式回答3項目(理解・修得項目、良点・改善点、製剤見本感想)の分析を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学薬学部 製剤学研究室

〔個人情報の取り扱い〕

・本研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守します。本研究ではデータを抽出する際、個人情報を除き、新たに通し番号を振付した状態でデータを取り扱います。なお、研究で得られたデータは、学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報が公表されることはありません。また、本研究で得られたデータは、最終の研究成果公表の10年間を保管期間としています。保管期間終了後は、電子媒体を再生不可能な状態にして廃棄致します。

・本研究は、帝京大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け、承認を得て行っているものです。

・2023～2025年度の薬物動態制御学 第11回を受講した学生さんで、ご自身の情報の利用を許可されない場合には、お手数ですが下記問い合わせ先までお知らせください。その場合、あなたのデータは使いませんし、今後の成績評価に差し支えることは全くありません。ただし、個人情報を削除した状態でデータの集計を行うため、集計開始後は、学生さんの特定ができなくなります。そのため、データ提供ならびに集計開始後は学生さんの情報の使用を取りやめることができません。

〔その他〕

・本研究に参加することによる謝金はありません。また、本研究への参加の有無は、成績評価の対象とはなりません。

・対象となる学生さんで、ご自身の講義アンケート回答の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容(研究計画書、研究方法に関わる資料、個人情報の取り扱い方法等)をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 黄倉 崇 職名 教授

研究分担者:氏名 田中 紫茉莉 職名 講師

所属:帝京大学 薬学部 製剤学研究室

住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-8307(代表)〔内線 47462〕